

埋蔵文化財調査センター

埋蔵文化財調査センター概要

1 施設の概要

- (1) 名 称 ひたちなか市埋蔵文化財調査センター
- (2) 所在地 ひたちなか市中根3499番地
- (3) 敷地面積 12,310 m²
- (4) 建物構造 鉄筋コンクリート造2階建
- (5) 建物延面積 1,239.22 m²
- (6) 開 館 平成5年12月3日



2 館内の概要

- 1階 (640.18 m²) 標本陳列室, 大型資料収蔵庫, 特別資料収蔵庫, 第1整理(作業)室, 第2整理室, 事務室, 撮影・現像室, 器材室, 電気室, 休憩室2
- 2階 (599.04 m²) 収蔵庫, 講座室, 図書資料室, 記録室

3 展示資料の概要

標本陳列室では、市域から出土した資料を中心に、旧石器時代から平安時代までを主に展示・一般公開している。部屋の中央には虎塚古墳石室の実物大模型(レプリカ)が据えられ、この周囲を巡ることで資料を時代順に見学することができる。

また、大型資料収蔵庫・特別資料収蔵庫や、標本陳列室の一部を利用した小規模な企画展(ワンケース・ミュージアム)を年数回開催している。常設で展示されている主な資料は下記のとおり。

- 旧石器時代 武田西塙, 武田石高, 後野遺跡などから出土した石器群(台形様石器, 局部磨製石斧・ナイフ形石器・彫器・削器・搔器・尖頭器・細石刃など)
- 縄文時代 後野遺跡の「無文土器」と石器群, 東石川新堀遺跡の「隆起線文土器」と石器群, 遠原・三反田蜆塚・大田房貝塚などの土器, 土製品(土偶・耳飾・土錘など), 石器(石鏃・磨製石斧・打製石斧・磨石・石皿など), 石製品(石棒・耳飾など), 骨角器(釣針・ヤスなど), 貝器(腕輪・貝刃など)
- 弥生時代 狛遺跡の「狛Ⅰ式」, 北山ノ上遺跡の「十王台式」, 茨城町長岡遺跡の「長岡式」, 東中根遺跡群の「東中根式」など土器型式の標準資料, 笠谷・武田西塙・石高・半分山遺跡などの土器, 土製品(紡錘車), 石器(磨製石斧など), ガラス玉・銅鏃・鉄鏃・貝輪・炭化米
- 古墳時代 虎塚・笠谷・三反田・鉾ノ宮・大平・三ツ塚・磯崎東古墳群の副葬品(鉄鏃・馬具・銅鏡・銅釧・切子玉など), 大平古墳の「乳飲み児を抱く埴輪」, 馬渡埴輪製作遺跡の馬形埴輪, 三反田・武田西塙遺跡などの土器, 土製品, 石器, 石製品(勾玉・子持勾玉・石製模造品など), 鉄器(鋤先など), わらし状炭化物
- 奈良時代 十五郎穴横穴墓群の副葬品(大刀)と須恵器, 原の寺瓦窯跡の瓦(文字瓦など), 後谷津製鉄遺跡の製鉄関連遺物
- 平安時代 武田西塙遺跡のおにぎり状炭化物, 墨書土器, 施釉陶器など
- 中世～現代 大沼経塚の経筒, 沢田遺跡の墨書石, 武田遺跡群出土内耳土鍋, 陶磁器, 高射砲陣地出土遺物など

埋蔵文化財調査センターの主要事業

項 目	内 容
1 埋蔵文化財の調査及び研究に関する事業	(1) 市内遺跡発掘調査 (2) 出土遺物の整理 (3) 考古資料等の調査・研究及び調査報告書等の作成
2 埋蔵文化財の収集、整理及び保存に関する事業	(1) 収蔵資料（出土遺物、凶面・写真等の記録資料、調査報告書等の凶書・情報資料、寄贈・寄託資料）の整理、保管及び台帳等の整備 (2) 出土遺物の復元及び保存処理 (3) 参考資料・情報等の収集
3 埋蔵文化財の活用及び知識の普及に関する事業	(1) 出土遺物等考古資料の展示公開 (2) 公開講座等普及事業の開催 (3) センターだより等の刊行 (4) 収蔵資料の貸出 (5) 施設・展示の案内説明（社会科見学等） (6) 博物館実習、職場体験学習の受入 (7) 埋蔵文化財に関する情報の提供、相談・助言 (8) 埋蔵文化財包蔵地の周知
4 施設の維持管理その他	(1) 施設、設備、備品等の維持管理 (2) 敷地、館内の環境整備（清掃委託等） (3) 入館者の受付、資料の頒布、施設（講座室）の利用貸出

令和4年度利用状況

開館日数	団体数	入館者数		
		個人	団体	計
306	50	5,703	1,158	6,861